

# 北見市における 森林環境譲与税の活用について

# 《内容》

- 1 北見市の概要
- 2 森林環境譲与税の活用方針等
- 3 森林環境譲与税を活用した事業について
- 4 今後について



# 《内容》

## 1 北見市の概要

## 2 森林環境譲与税の活用方針等

## 3 森林環境譲与税を活用した事業について

## 4 今後について

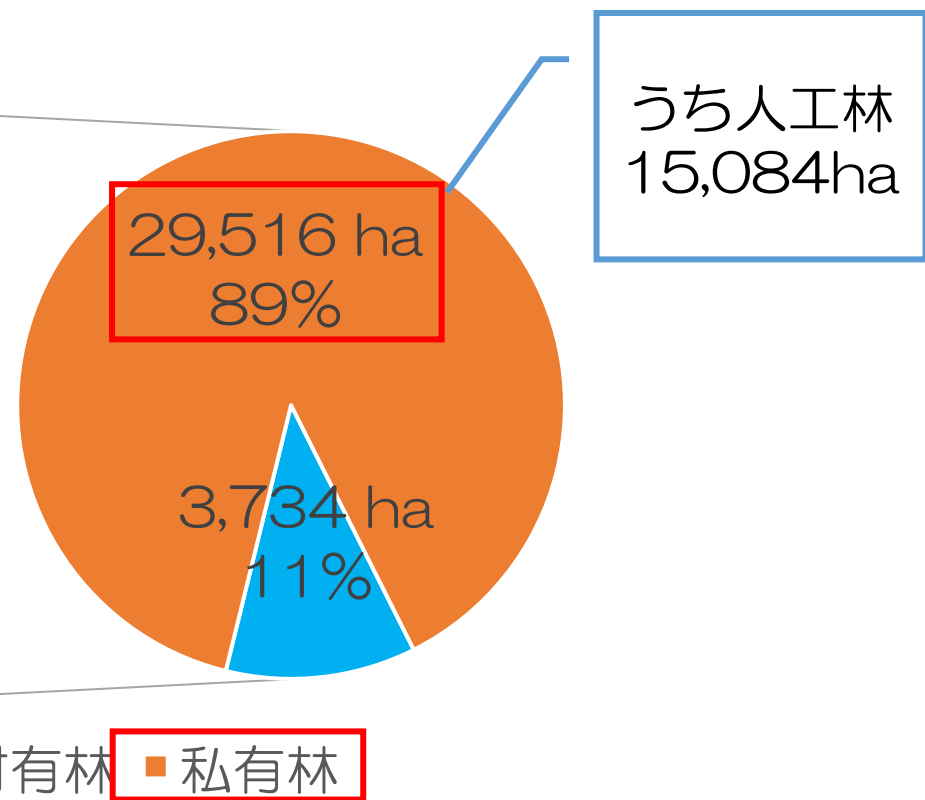
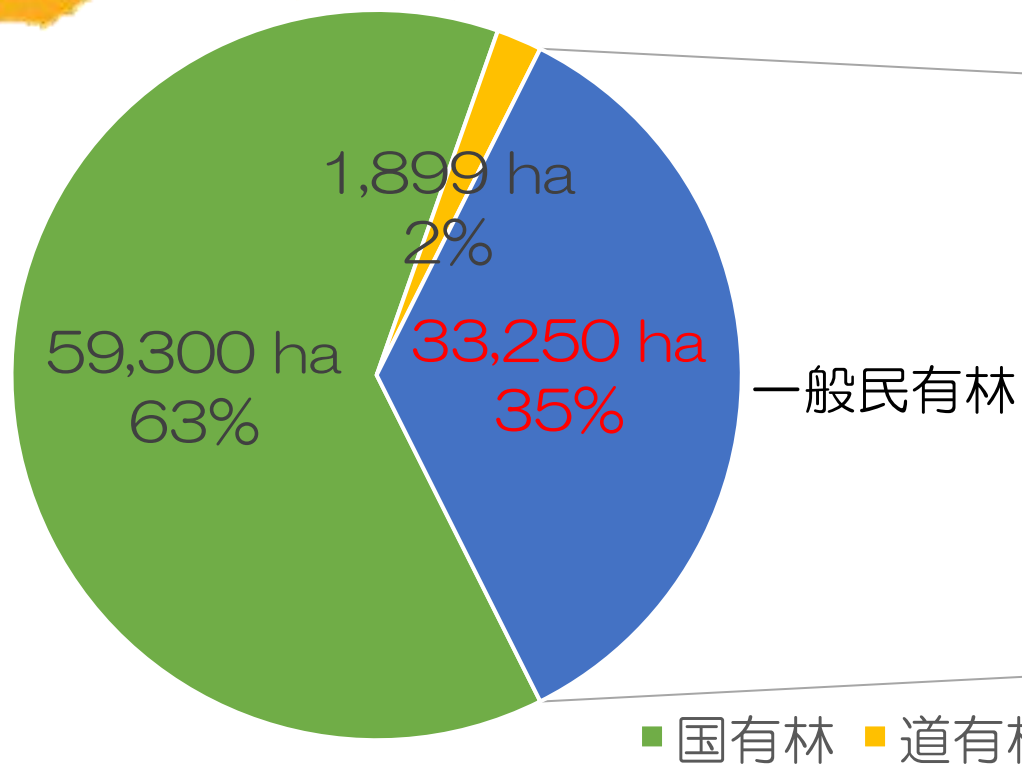


# 1 北見市の概要

## 森林資源の資源状況



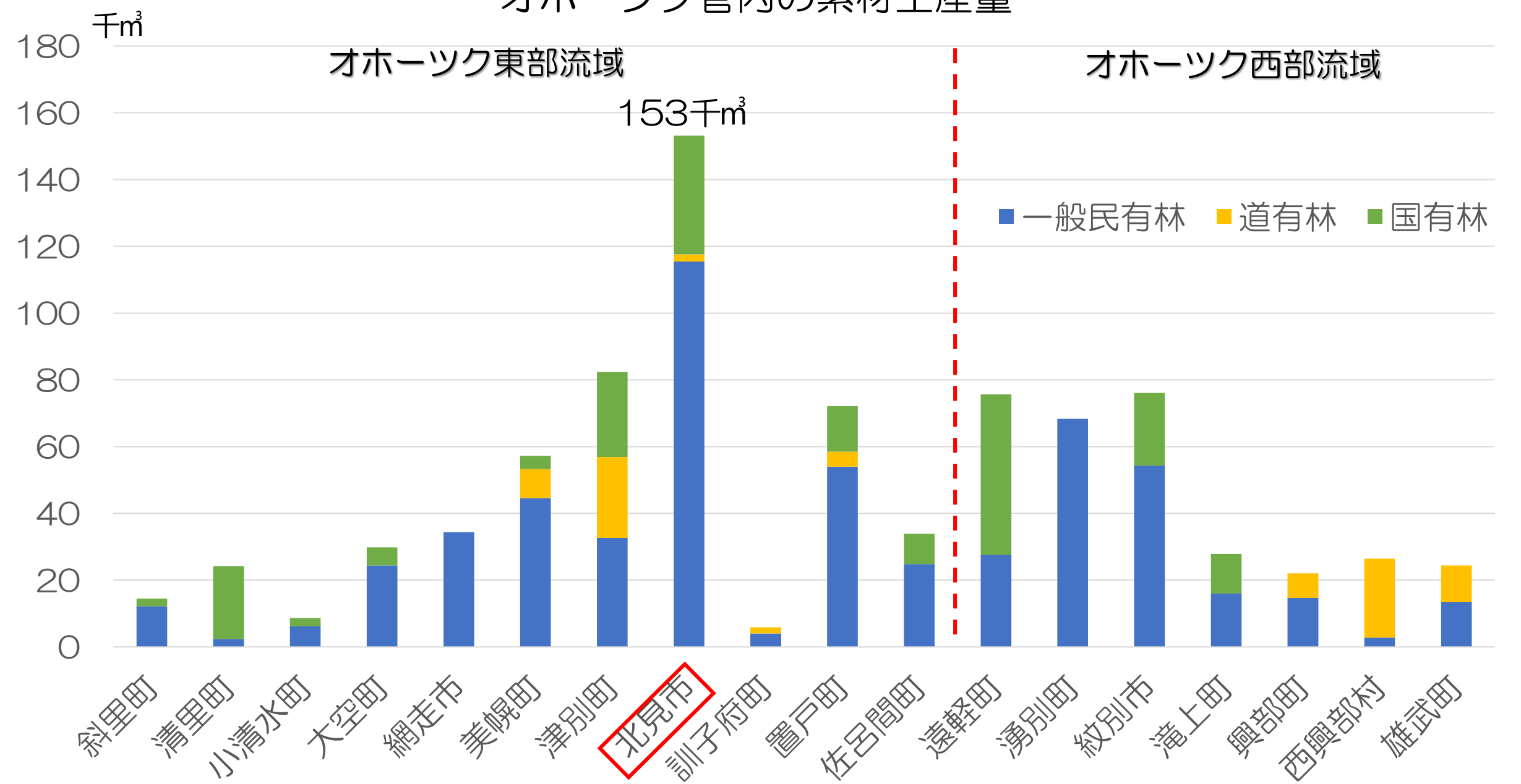
| 北見市の森林  |           |     |          |
|---------|-----------|-----|----------|
| 総面積     | 142,741ha | 人口  | 115,241人 |
| 森林総面積   | 94,449ha  | 森林率 | 66%      |
| 一般民有林面積 | 33,250ha  |     |          |





# 1 北見市の概要

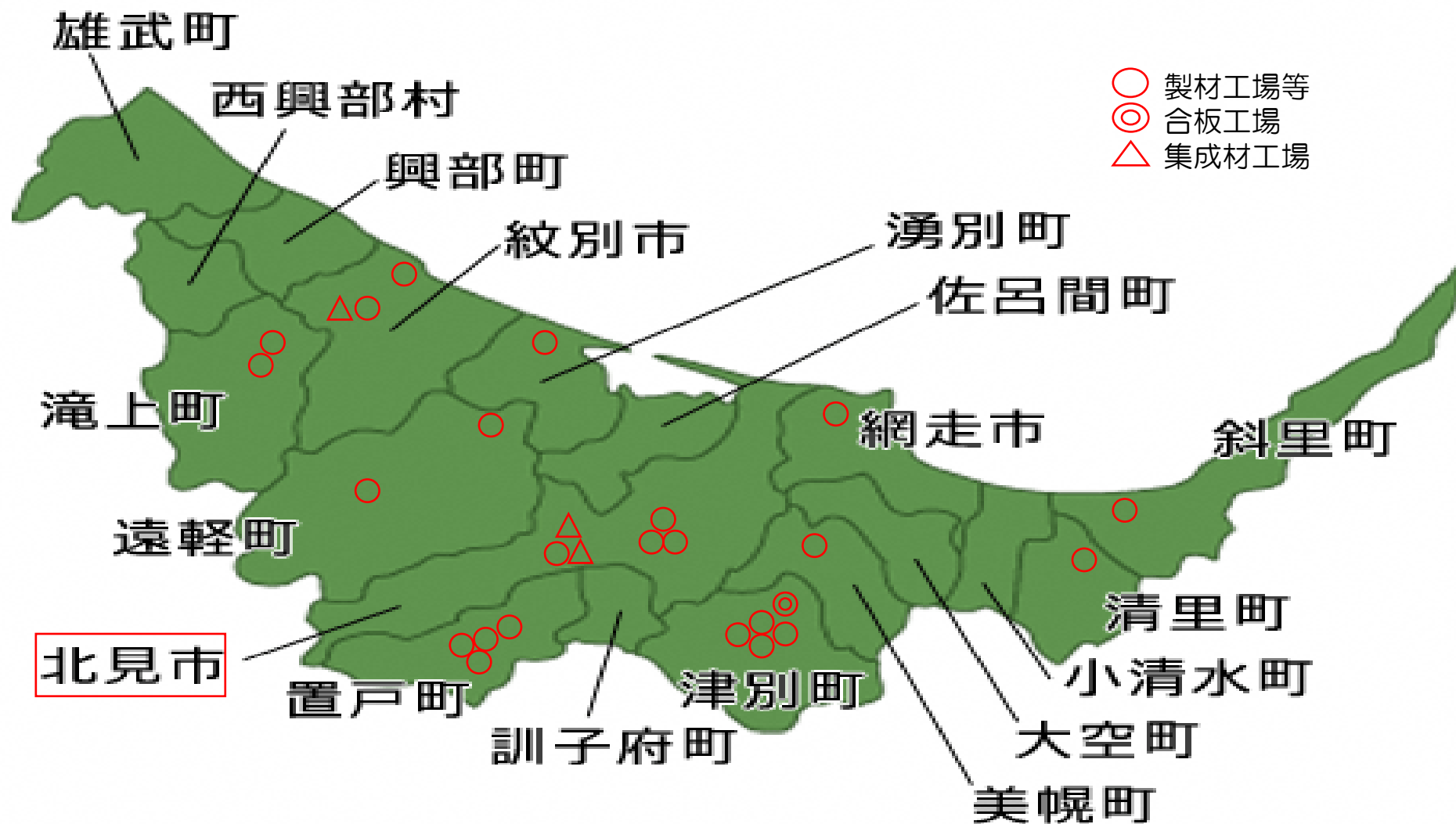
## オホーツク管内の素材生産量



※オホーツクの林産（平成30年度実績）より

## 1 北見市の概要

### 《オホーツク管内の製材工場等の状況》



※北海道木材産業協同組合連合会HP等より

《オホーツク管内の製材工場等の状況》

|       | オホーツク<br>東部 | オホーツク<br>西部 | 合計 |
|-------|-------------|-------------|----|
| 製材工場  | 20          | 10          | 30 |
| チップ工場 |             |             | 37 |
| 合単板工場 |             |             | 5  |
| 集成材工場 |             |             | 4  |

※オホーツクの林産（平成30年度実績）より

## 1 北見市の概要

### 森林環境譲与税の額について

#### 《譲与基準の値》

| 区分       | 値        | 適用                                      |
|----------|----------|-----------------------------------------|
| 私有林人工林面積 | 15,568ha | 農林業センサス<br>※森林資源現況調査（林野庁<br>H29.3.31現在） |
| 林野率      | 67%      | 農林業センサス                                 |
| 人口       | 121,226人 | 国勢調査                                    |
| 林業就業者数   | 222人     | 国勢調査                                    |

2020年調査結果に基づくため変動



#### 《森林環境譲与税額（千円）》

| 区分   | R1     | R2     | R3       | R4~R5    | R6~       |
|------|--------|--------|----------|----------|-----------|
| 譲与税額 | 33,344 | 70,856 | 70,000前後 | 90,000前後 | 100,000前後 |



# 《内容》

1 北見市の概要

**2 森林環境譲与税の活用方針等**

3 森林環境譲与税を活用した事業について

4 今後について



### 3 森林環境譲与税の活用方針等について

森林環境整備基金の設置（R1.7）

基金条例の改正



森林環境譲与税の活用に向けた基本的な考え方（R1.9）  
《R1～R5》

① 森林整備の推進

② 人材育成・担い手確保

③ 木材利用の推進

④ 普及啓発

森林整備の水準に関する目標（R1.10）  
《R1～R10 R5で見直し》

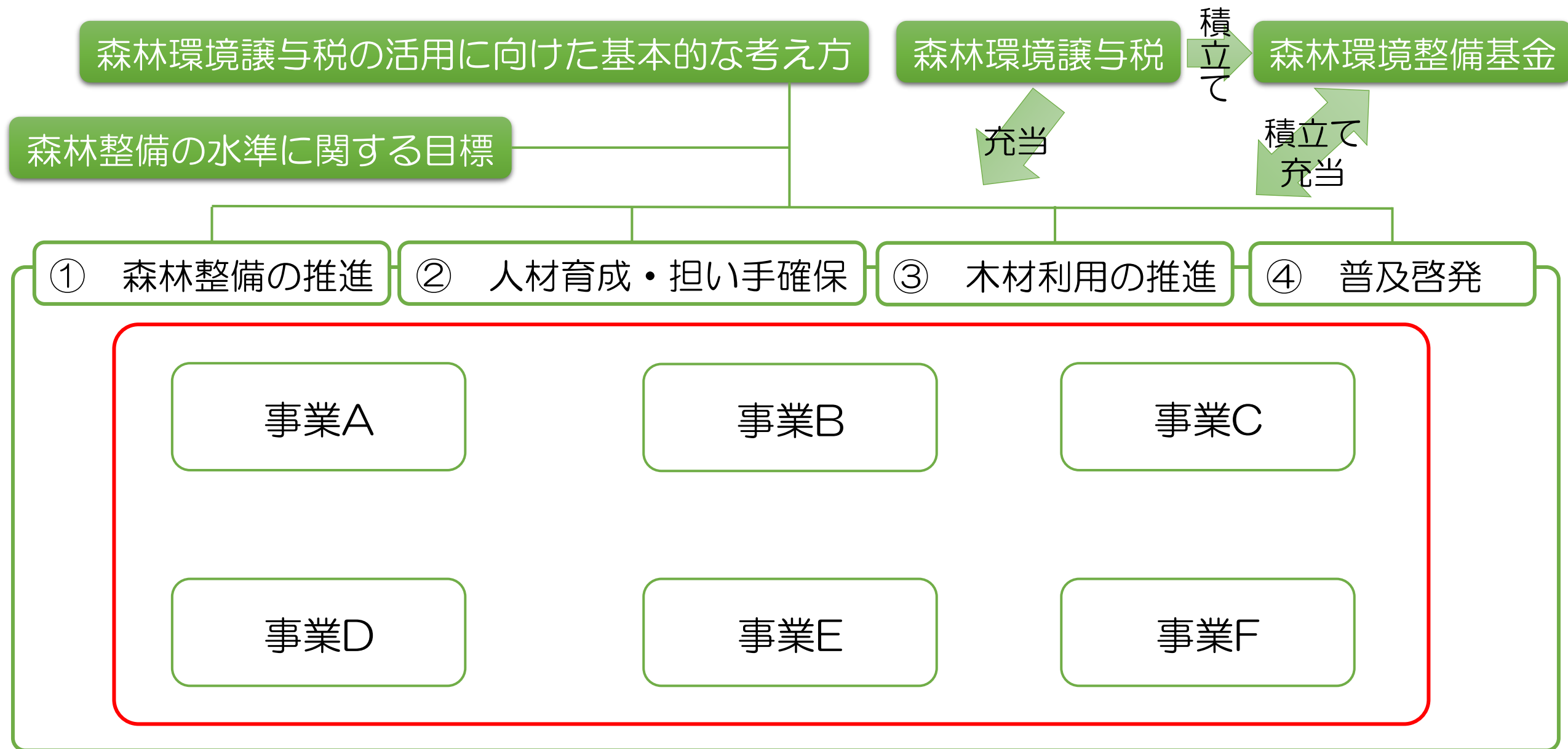
- 一般民有林の目標値として作成
- 資源状況やこれまでの実績や労務量等を踏まえ、目指すべき値として設定（造林、除伐・間伐）

《主な目標値》

人工造林 : 230ha/年

除伐・間伐 : 250ha/年

## 《譲与税事業実施の体系》



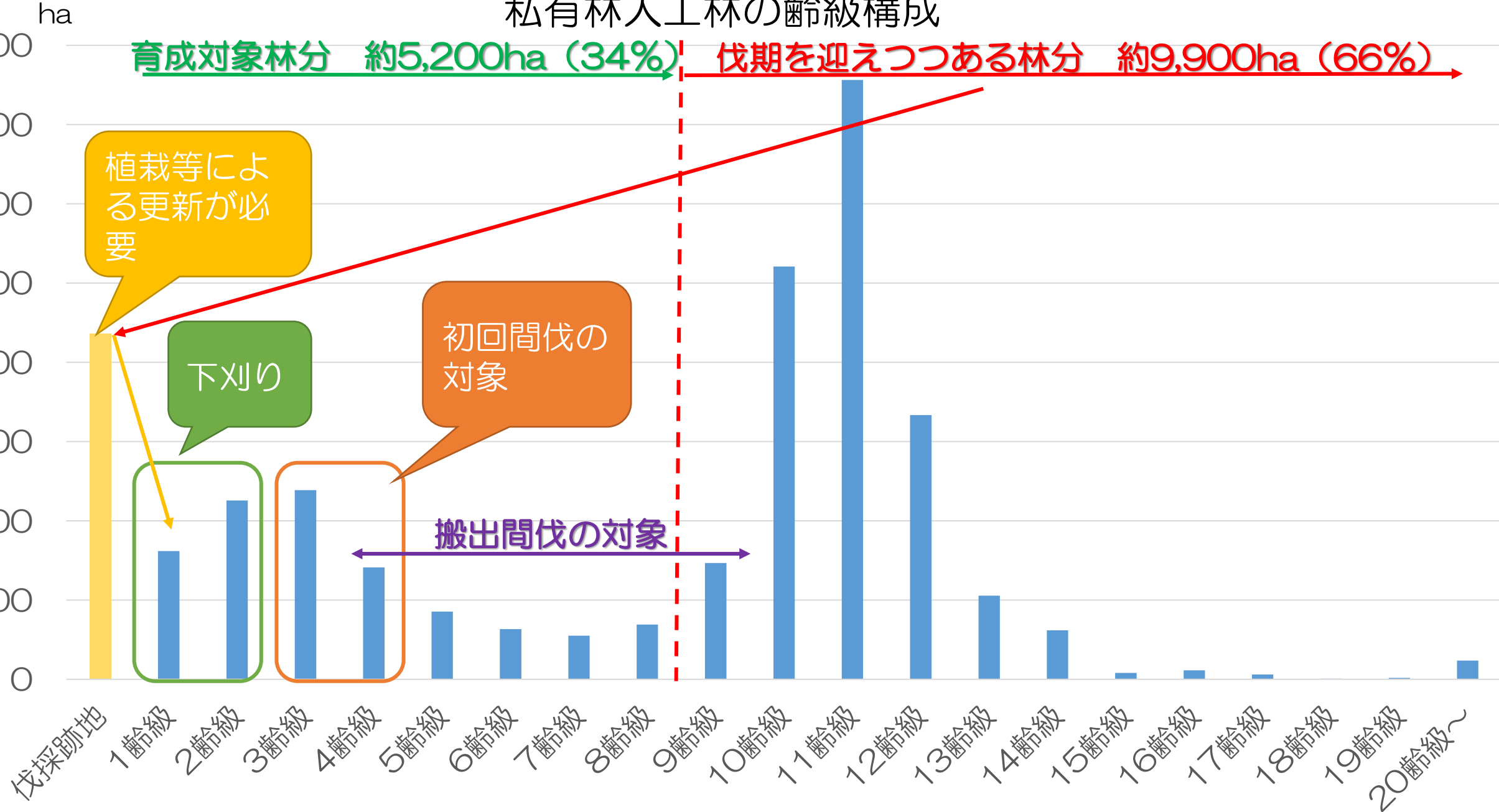
# 《内容》

- 1 北見市の概要
- 2 森林環境譲与税の活用方針等
- 3 森林環境譲与税を活用した事業について**
- 4 今後について



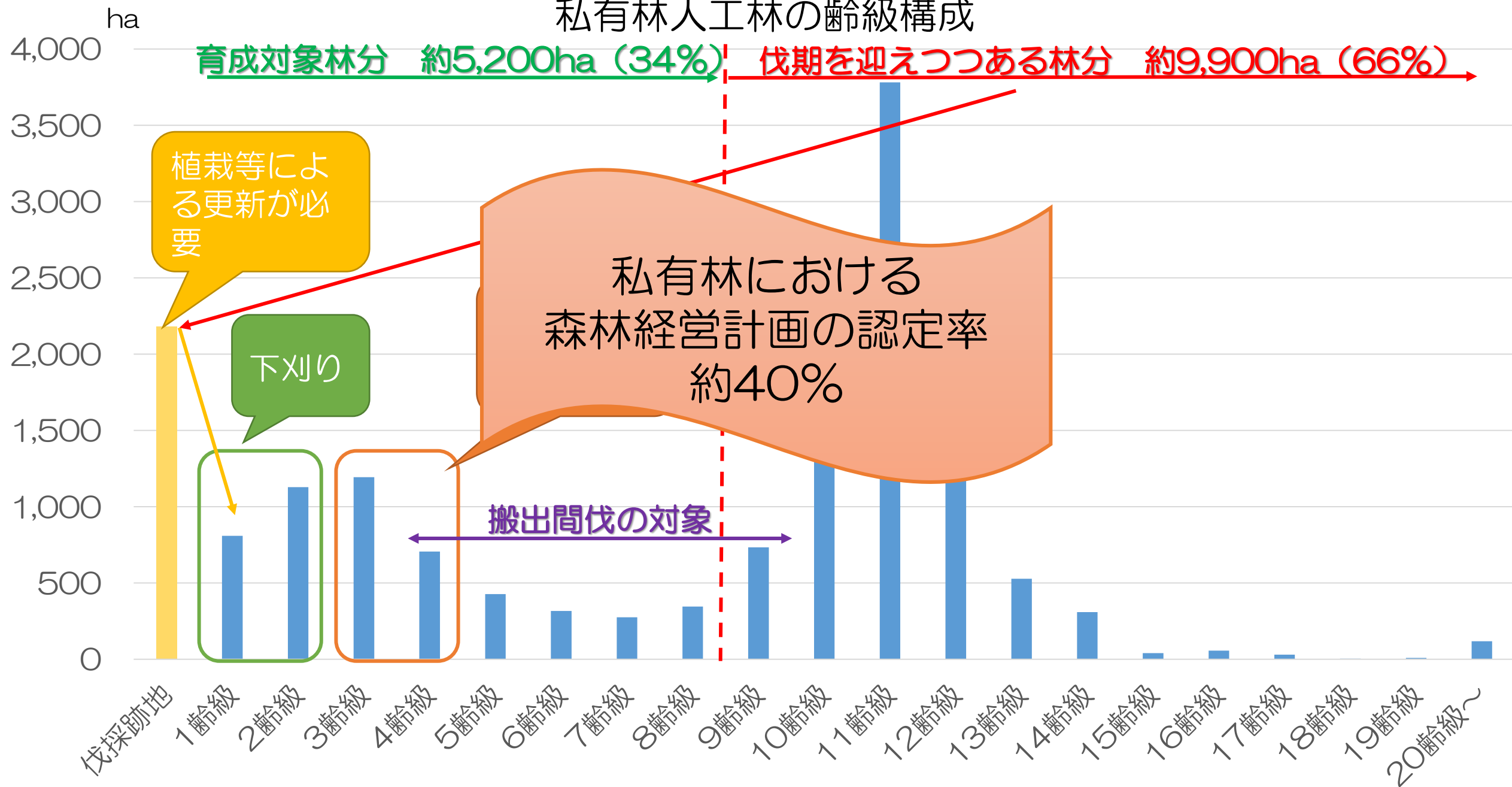
### 3 森林環境譲与税を活用した事業について

#### 私有林人工林の齢級構成



### 3 森林環境譲与税を活用した事業について

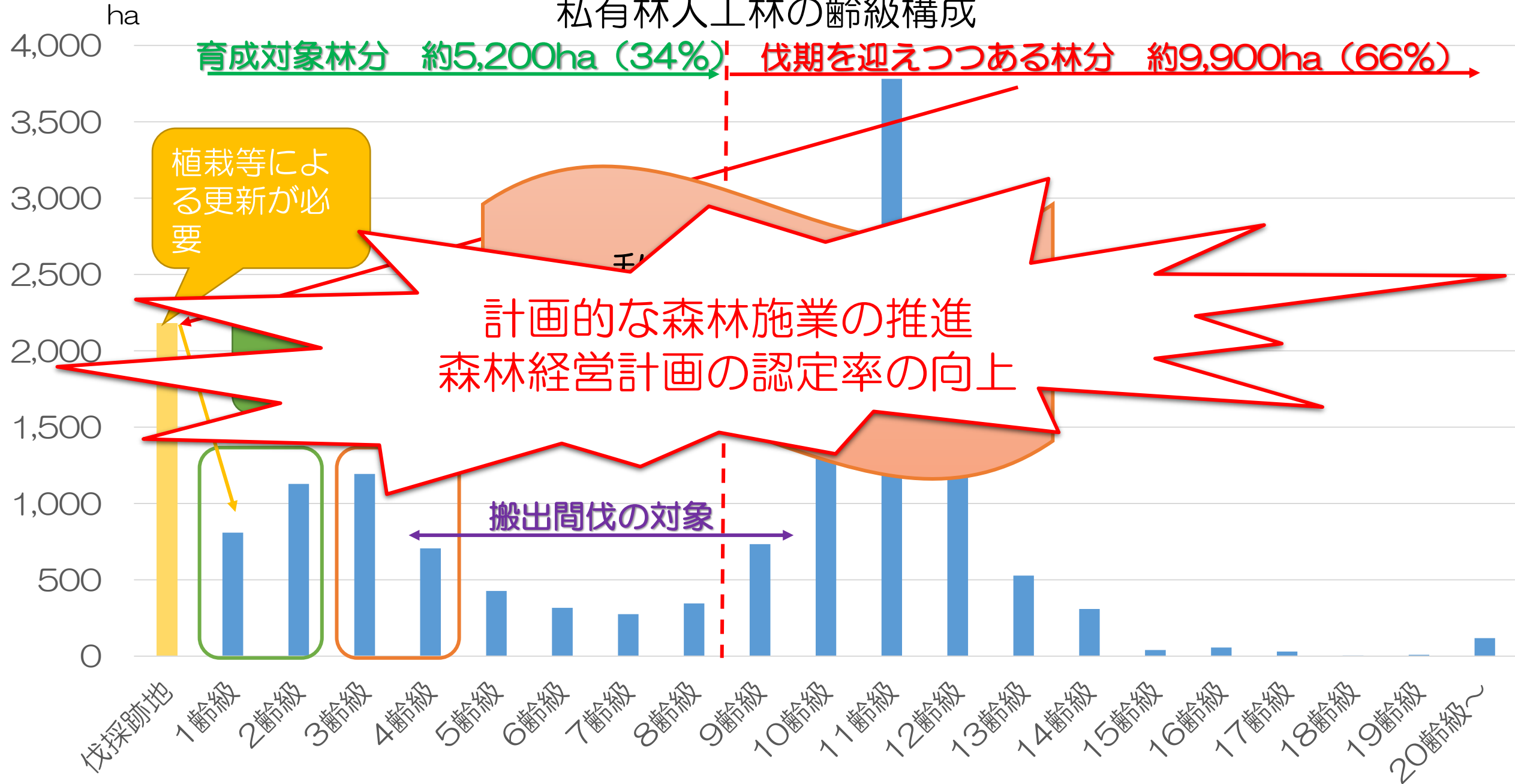
#### 私有林人工林の齢級構成





### 3 森林環境譲与税を活用した事業について

#### 私有林人工林の齢級構成



### 3 森林環境譲与税を活用した事業について

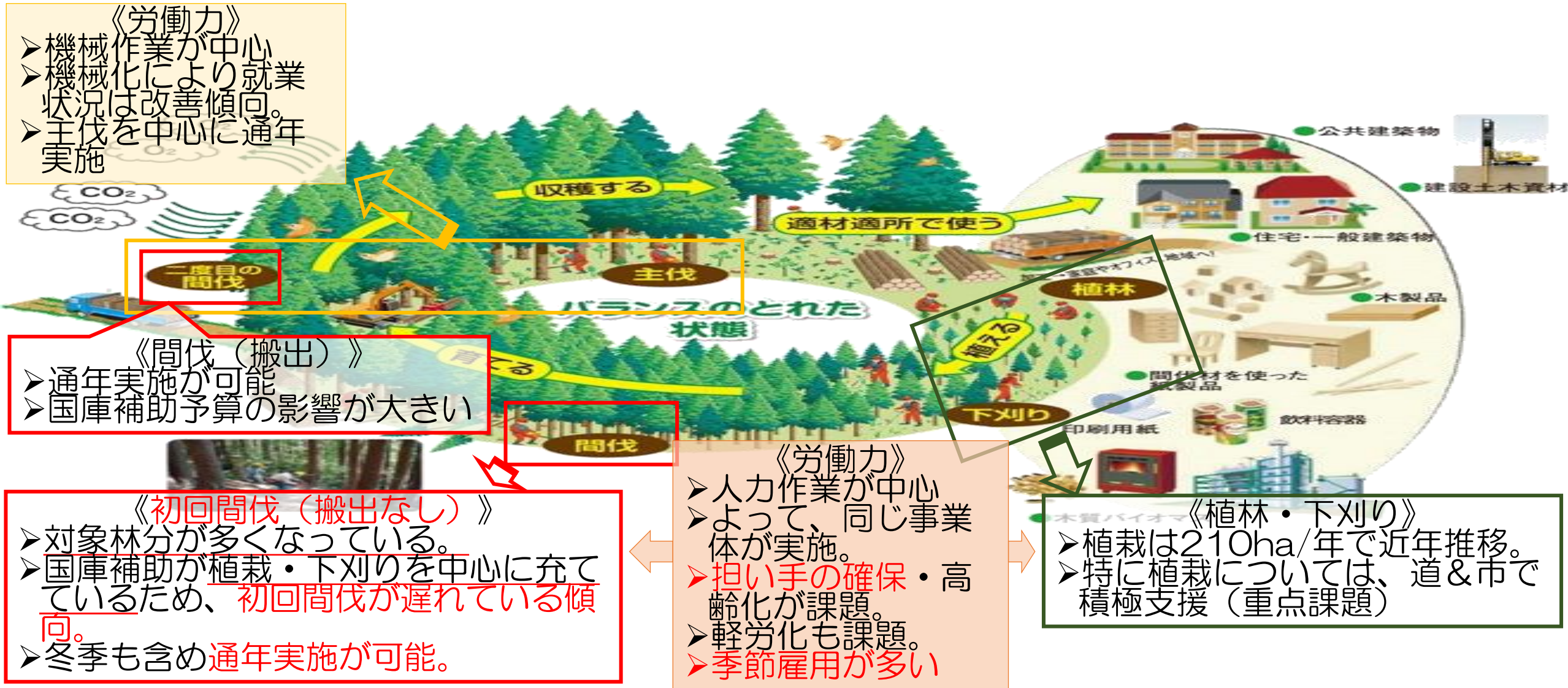


### 3 森林環境譲与税を活用した事業について

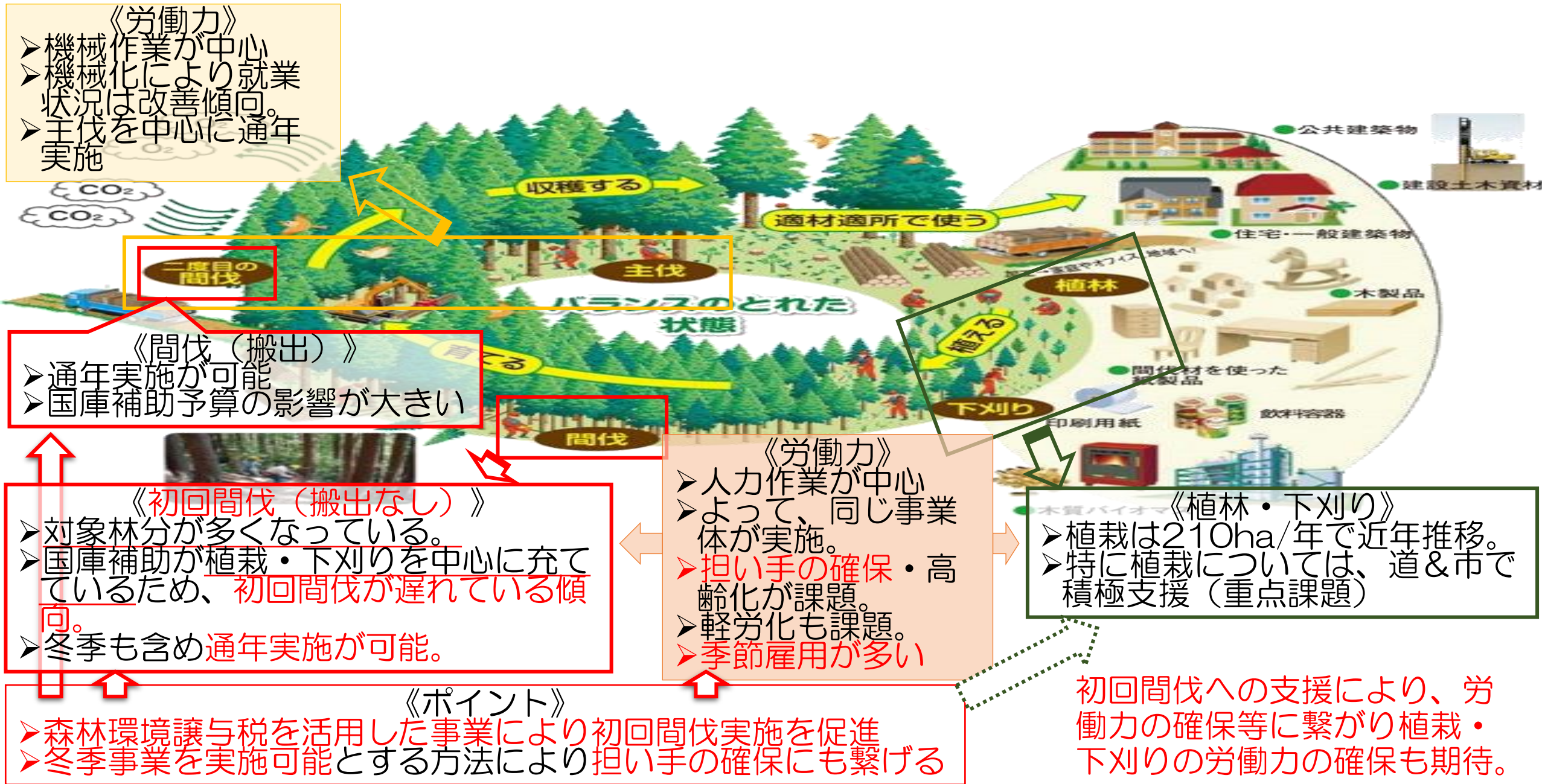




### 3 森林環境譲与税を活用した事業について



### 3 森林環境譲与税を活用した事業について





### 3 森林環境譲与税を活用した事業について

《労働力》  
➤機械作業が中心  
➤機械化により就業状況は改善傾向。  
➤主伐を中心に通年実施

森林環境譲与税を活用し、間伐を中心とした森林整備事業を創設し、国庫補助事業と合わせて計画的かつ安定的な森林整備を進める。同時に高性能林業機械等による効率化や軽労化への課題に対応するとともに、木材加工施設や地域材活用施設等の整備により、需要面で森林整備を支える支援策も講じる。

《木材の利用》  
需要面で森林整備を支える安定的な森林資源の確保と、整備、利用を促進する。



《間伐（搬出）》  
➤通年実施が可能  
➤国庫補助予算の影響が大きい

《初回間伐（搬出なし）》  
➤対象林分が多くなっている。  
➤国庫補助が植栽・下刈りを中心に充てられているため、初回間伐が遅れている傾向。  
➤冬季も含め通年実施が可能。

《労働力》  
➤人力作業が中心  
➤よって、同じ事業体を実施。  
➤担い手の確保・高齢化が課題。  
➤軽労化も課題。  
➤季節雇用が多い

《植林・下刈り》  
➤植栽は210ha/年で近年推移。  
➤特に植栽については、道&市で積極支援（重点課題）

《ポイント》  
➤森林環境譲与税を活用した事業により初回間伐実施を促進  
➤冬季事業を実施可能とする方法により担い手の確保にも繋げる

初回間伐への支援により、労働力の確保等に繋がり植栽・下刈りの労働力の確保も期待。

### 3 森林環境譲与税を活用した事業について

#### 令和元年度事業（補正）について

##### 【北見市森林環境保全整備事業】

《事業概要》  
私有林における森林経営計画に基づく間伐等の施業に対する助成

《ねらい》  
地域課題にも対応した制度設計とすることにより、国庫補助事業と本事業の双方で森林施業を支援。

《事業メニュー》  
除伐・保育間伐・間伐・枝打ち・鳥獣害防止施設等整備（殺そ剤散布等）・森林作業道

《補助率》  
標準経費×68%+ $\alpha$ （事業によって加算）

【+ $\alpha$ 】

◆ 除伐・保育間伐・間伐については市の上乗せ補助同額を加算

◆ 除雪を実施して除間伐・枝打ちを実施した場合10m当たり400円を加算

《予算額》  
18,000千円（検査用備品等含む）

##### 【地域材利用推進林業等振興対策事業】

《事業概要》  
高性能林業機械、木材加工施設の整備、木質バイオマス・地域材利用施設等の整備を行う事業者に対する助成

《補助率》  
補助対象経費×1/2以内（上限10,000千円）  
※国及び道の補助を受けた場合は補助残額の1/4（上限10,000千円）

《予算額》  
10,000千円

《ポイント》  
公平性の観点から公募方式を採用。予算を上回る申請があった場合は、予算の範囲内で按分して補助金を交付。また、事前評価と事後評価による事業実施の効果・検証を行う仕組みも導入

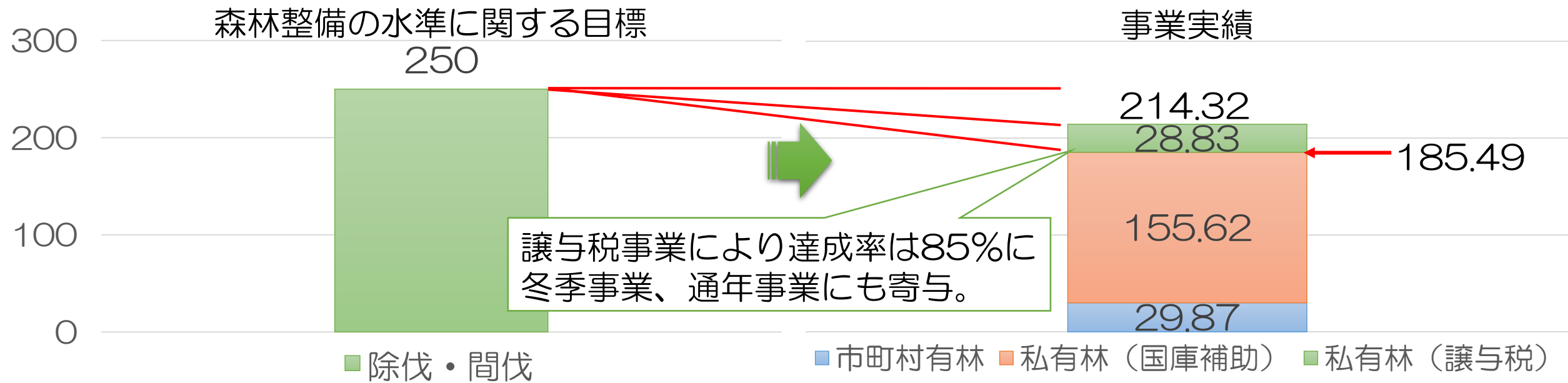


3 森林環境譲与税を活用した事業について

《北見市森林環境保全整備事業の令和元年度実績について》

| 事業種  | 件数 | 面積 (ha) | 補助金額      | 68%       | 除間伐加算   | 除雪加算 |
|------|----|---------|-----------|-----------|---------|------|
|      |    |         |           |           |         |      |
| 除伐   | 1  | 4.38    | 318,059   | 256,739   | 61,320  |      |
| 保育間伐 | 11 | 24.45   | 2,766,459 | 2,424,159 | 342,300 |      |
| 合計   | 12 | 28.83   | 3,084,518 | 2,680,898 | 403,620 |      |

事業実施の効果



### 3 森林環境譲与税を活用した事業について

《北見市地域材利用推進林業等振興対策事業の実績について》

R1

| 事業名            | 事業内容                                           | 補助金額     | 適用                               |
|----------------|------------------------------------------------|----------|----------------------------------|
| 地域材活用建築物整備事業   | 地域材を活用した建築物（民間施設）延床面積：391㎡<br>地域材（CLT）使用量：116㎥ | 5,000千円  | ◆ 国補助対象事業<br>◆ 補助金額は予算額を上回ったため按分 |
| 木質蒸煮飼料製造設備更新事業 | LPGバルク貯蔵施設<br>ボイラ（LPG焚き）                       | 5,000千円  | ◆ 補助金額は予算額を上回ったため按分              |
| 計              |                                                | 10,000千円 |                                  |

R2

| 事業名                       | 事業内容                                    | 補助金額     | 適用   |
|---------------------------|-----------------------------------------|----------|------|
| ハーベスター付油圧ショベル導入事業         | 林業用機械<br>ハーベスター付油圧ショベル<br>1台導入          | 10,000千円 | 事業完了 |
| ランバーフォーク付<br>ホイールローダー導入事業 | 木材加工施設用機械<br>ランバーフォーク付ホイール<br>ローダー 1台導入 | 2,727千円  | 事業完了 |
| 計                         |                                         | 12,727千円 |      |

### 3 森林環境譲与税を活用した事業について

#### 【北見市森林環境保全整備事業（R1～）】

《予算額》 20,000千円

#### 【地域材利用推進林業等振興対策事業（R1～）】

《予算額》 30,000千円（27,303千円）

#### 【森林環境整備推進事業（R2～）】

《事業概要》 森林環境譲与税を活用した事業を円滑に実施するための専門的な知識・技術の習得・向上、その他必要な事務管理等を実施。

《予算額》 700千円

#### 【森林経営管理推進事業（R2～）】

《事業概要》 森林経営管理法に基づく意向調査の実施 《予算額》 3,400千円

#### 【林業担い手確保等推進対策事業（R2～）】

《事業概要》 担い手確保等に関する取組みを行なう林業事業体等への助成や北海道林業・木材産業人材育成支援協議会への加入（賛助会員）。

《予算額》 1,600千円

#### 【森林整備・地域材利用普及啓発事業（R2～）】

《事業概要》 公共施設等での地域材利用の促進及び普及啓発の実施。 《予算額》 405千円（3,102千円）

#### 【新庁舎建設事業（備品）（R2）】

《事業概要》 新庁舎の備品において地域材を活用し、地域材利用の普及啓発や森林整備への理解の促進を図る。

《予算額》 10,595千円（譲与税充当額）

### 3 森林環境譲与税を活用した事業について（森林整備・地域材利用普及啓発事業）

## 市役所新庁舎 2階市民ラウンジ 開庁中は自由に利用可能な場所 地域材を活用した木製枠の設置



両端壁部分:トドマツCLT  
その他:トドマツ集成材

## パネル掲示によるPR活動

この木枠は、地域材トドマツを原料として、市内の木材工場で加工製造されたものです。

壁にはCLTと呼ばれる建築材料が使われています。直交で重ねることで「反る」「割れる」といった木材の欠点を解消できるという特徴があります。

CLT：（クロス・ラミネイテッド・ティンバーの略称）  
ひき板（ラミナ）を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木材系材料です。厚みのある大きな板であり、建築の構造材のほか、土木用材、家具などにも使用されています。  
（引用元：日本CLT協会HP）

CLTのイメージ図

※同一方向積層接着したラミナは2プライでも1層と数える。  
上記の図は「5層 7プライ」となる

（直交集成板の日本規格（平成25年12月20日農林水産省告示第3079号）図1を元に作成）

JAS（日本農林規格）認定を受けているCLT製造工場は全国で7施設、北海道内唯一の認定工場が北見市内にあります。（令和2年12月現在）

作成：北見市農林水産部森林整備課

CLTについて



地材地消から生まれる  
森林循環について



### 3 森林環境譲与税を活用した事業について（新庁舎建設事業（備品））

#### 地域材を活用した備品の導入 地域材トドマツ使用



# 《内容》

- 1 北見市の概要
- 2 森林環境譲与税の活用方針等
- 3 森林環境譲与税を活用した事業について
- 4 今後について



## 4 今後について

### 《令和3年度からの新たな展開》

- ① 森林資源の循環利用を促進するため植栽支援制度を拡充（伐跡対策）
  - ◆ 北海道と市町村で実施している嵩上げ支援制度に対する追加支援を実施。
  - ◆ 市独自で実施している既存の林地流動化への支援策に加えて、自分で伐って自分で植えた場合に対しても支援を実施
- ② 下刈り・除間伐への支援を拡充
  - ◆ 市独自で実施しているha当たりの定額支援の額を概ね2倍程度増額
  - ◆ 間伐については、林齢による区分を見直し支援対象を拡充
- ③ 労働環境整備推進事業の創設
  - ◆ チェンソー防護衣等の安全性備品やファン付き作業服等の作業負荷軽減品の購入に対する支援
- ④ 地域材利用普及啓発事業の拡充（新規事業の追加）
  - ◆ 乳幼児を対象に地域材で作成したイスの贈呈





本日は貴重な機会をいただき  
ありがとうございました。